

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:3年 2月 8日

事業所名 白山台放課後等デイサービスみゆ〜みゆ〜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		パーソナルスペースも配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	8		適切である。1月より全スタッフ常勤となります。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		既存の手すり、エレベーターが設置されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		・なるべくPCDAに沿うように喚起しているものの、うまく出来ていないと思います。効率化を図りながら、今後も全スタッフで協議していきたいと思ひます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			年1回アンケートを実施しています。結果は全職員で共有・検討し、改善できる事項については改善工夫を継続して見ていきたいです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページ及び、全保護者へ通知致します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		・金銭面の問題。 ・お金がかかるため。 ・実施していない。 ・なるべく、そのように喚起しているものの、うまく出来ていないと思う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		・まだまだ足りない。今後は、質の向上を図るためには何が必要になるのか、課題として取り上げていきたいと思ひます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	発達段階アセスメントシートを利用しながら進めています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		発達状況に応じて、社会項目を必要としたアセスメント票を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			基本は個別支援計画に則った活動プログラムを行っています。今年度は、コロナ禍ということもあり、活動の制限があり、なかなか上手く出来ませんでした、多くの社会資源を利用しながらの活動も取り入れていきたいと思ひています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		昼礼を行っている	昨年度の反省点から、全スタッフが参集して一日の流れを確認する必要があるということで、昼礼を実施することとなりました。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		しっかりと振り返りが出来ていない。今後、課題点として、振り返りは非常に重要であることから、実施していきたいと思ひます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		業務日報、ケース記録において改善、支援していくべきか記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		必ず保護者様と面談を実施しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7		みゆ〜みゆ〜独自の取り組みも行っていきます。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			担当制ではないが、今後、中心に支援している子どもの会議においては、スタッフの参加も考えています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			学校との連携は重要だと思われる。しかしながら上手く連携が図れていないのが現状。送迎時に情報の共有を図るようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4		受け入れていない。人員、環境ともに受け入れ態勢が整っていません。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3		今後、相談支援専門員を通して、連携会議や引継ぎなどを密に行っていきたいと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			情報の提供を文書にて通知し、共有を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4		今後、研修の機会を設けていきたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		コロナ禍で難しい。 コロナ禍という状況で出来ていない。公共の公園で一緒に遊ぶこともある程度です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			普段から保護者様と会話するように心がけています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	常時相談にのっている。	ペアレントトレーニングとしては出来ていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時の説明。事業所前に設置。全保護者様へ配布しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		いつでも当所を開放し、保護者様からの相談に乗るようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	今年は参観週間を設けました	されていないのが現状。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		苦情ボックスを設置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		会報というよりは、ケース記録(各個人)を通して写真つきで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7	1	写真撮影、掲載に関しては、その都度確認させて頂いております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・必ず保護者に確認している。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		現状、出来ていない状況。コロナ禍でなかなか難しい部分もありますが、地域住民との関りはしていきたいと思っています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		契約時の説明。事業所前に設置。全保護者様へ配布しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		・毎月1回、避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止マニュアルを作成しています。研修も実施。	開かれた事業所として、虐待研修は月1回のペースで実施していきたいと考えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		全利用者(保護者)に対し、状況の説明を行い、万が一安全性を優先した際に、やむを得ず実施する可能性があることから、同意書を頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	契約時に、必ずアレルギーの有無を確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	事例集を作成しています。	